

まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	かみやしろ居場所づくり同好会
まちづくり 活 動 名	かみやしろ居場所づくり同好会
活 動 地 域	上社を中心とした名東区内
活 動 の 背 景	（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。） 上社は大学に向かうスクールバスの発着駅であるが、駅に滞留する学生はほとんどいない。「上社駅に、大学やアルバイト先や家とは別に寄り道でき、交流できる魅力的な居場所があれば、より充実した生活が送れるのではないかな…」という学生の思いがきっかけとなり、令和5年度、学生と上社住人とでタッグを組んで団体を立ち上げた。 活動初年度（R5年度）は、名東図書館の協力を得て、リサイクル図書配布と無料カフェ企画を上社駅エントランスコートにて実施した。昨年度（R6年度）は、企画をバージョンアップし、出店者を募集。上社に住む人、働く人、通る人からなる14の出店者と共にイベントを開催することができた。
目的・目標	（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください） ■目的 ● 上社にかかわりを持つ人（住む人、働く人、通る人）をつなげる場を作り、互いの思いを共有しながら、「ここにいたくなるまち上社」を共に創る。 ■2025年度目標 ① Kamiyashiro Station Café を持続可能なイベントにするために、助成金に頼らない運営方法を見つける ② 上社界隈の団体・店舗のつながりをひろげる ③ 名東図書館、名東文化小劇場とのコラボ企画の実施 ■成果 ● 上社界隈の魅力づくり・心地よい空間づくり ● 多様な関係者のかかわりの増加 ● 「自分たちのまちは、自分たちの手でつくる」という機運の盛り上げ

活 動 内 容	(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。) ○Kamiyashiro Station Café 実行委員会の立ち上げ (新規) ・ イベントの継続を可能にするため、令和6年度イベント出店者を中心に、実行委員会を結成する ・ 協賛金を募るなど、助成金に頼らない運営方法を検討する ○めいとうとしょかん Garden café への協力参加 (継続) ・ 5月11日(日)、名東図書館屋外スペースにて、図書館主催ガーデンカフェにおけるカフェ部門を担当する ○名東戦国夏まつりへの参画 (新規) ・ 9月20日(土)、名東文化小劇場主催「名東戦国夏祭り」に実行員として加わり、大学、地域との企画連携の調整を行い、1階エントランスコート部分での賑いづくりを担当する ○Kamiyashiro Station Café 2025 の実施 (継続) <助成金に頼らない資金調達・運営を試みる> ・ 近隣企業・店舗からの協賛金を募り、助成金に頼らない形で運営を試みる <ミニステージの併設> ・ 上社近隣の学校や教室による歌や踊りなどが発表できるミニステージの設置を試み、さらなる集客を目指す <平日夜企画の実施> ・ 週末昼間のイベント開催に加え、通勤・通学者が多い平日夕方～夜にかけての時間帯でのイベントの実施を試みる ・ スクールバスから降りて駅に向かう大学生にイベントを知ってもらう機会を作り、学生間におけるイベントの認知度を上げる ○つながる・ひろがる・かみやしろポスター作成 (新規) ・ 上社界隈の店舗がつながるきっかけとなるポスターの作成	
活 動 予 定 期	令和6年6月 ～ 令和7年2月	
助 成 金 交 付 申 請 額	100,000 円	※1回目(上限5万円) ※2回目、3回目(上限10万円)

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	・ 地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・ 自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・ 活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・ 活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) <課題> ● 上社を通る学生にとって、上社駅は寄り道できるような入りやすい店がなく、バスの発着の際の利用が中心となり、現在は、ただの通過地点となっている。 ● まちへのかかわり方が見えにくいいため、一人一人の思いや行動が、身近なまちづくりにつながる事が気づかれにくい。 <課題解決に向けて> ● 上社にかかわる人(住む人、働く人、通る人)の間に、まちの魅力づくりにかかわるきっかけを増やし、学生や住民が気軽に参加できるまちづくりを進める ● 「自分たちの手で自分たちのまちを創る楽しさ」の見える化から、まちづくりに対する共感を広げる	

審査基準② 実現性	・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ● 今年度は、助成金に頼らないイベント運営への試みに重点を置く → イベントの実施に関しては、前回のイベント出店者を中心に実行委員会を結成 → 近隣企業・店舗より協賛金を募り運営資金を集める ● 昼企画の集客を増やす → 出店ブースに加え、ミニステージを設置する → 近隣の学校・教室・団体などの出演を増やし、観客を増やす ● 夜企画を実施し、(週末昼間とは異なる客層(通勤・通学者)へのアプローチを行い、集客を増やす → 名古屋学芸大学メディア造形学部との連携企画：上社駅エントランスコートにて学生が作った映像の上映会を行う ● 上社界隈の公的団体・店舗との連携を増やす → 名東文化小劇場の企画(名東戦国夏祭り)に実行委員として参加し、外国語大学、名古屋学芸大学、地域との連携を進めるコーディネーター役を努める → つながる・ひろがる・かみやしろポスター作り ● 学区連絡協議会への情報共有を適切に行い、地域からの理解・協力を得る	
審査基準③ 発展性	・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。) ● 学生が通るまち上社にて、学生が主体的にかかわれるきっかけを増やし、学生と地域とが一緒になって、まちを創るプロセスは、上社の特性を活かしたまちづくりとなる ● イベントの出店者から実行委員を募ることにより、上社に住む人、働く人、通る人)がより深くかかわる機会を生み出す ● 上社にかかわりを持つ人(住む人、働く人、通る人)の間に顔の見える関係性をつくり、お互いの好き・得意を活かした「ここにいたくなるまち上社」の実現につなげる	

3 活動にあたり他団体(町内会、自治会他)、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
名古屋外国語大学城月ゼミ	イベント実施における連携・相談
名古屋学芸大学草野ゼミ	イベント実施における連携・相談
名古屋市名東図書館	イベント実施における連携・相談
名東文化小劇場	イベント実施における連携・相談
名東区社会福祉協議会	イベント実施における連携・相談
猪高学区連絡協議会	イベント実施における連携・相談
名古屋市交通局資産活用課	イベント実施に関する相談
ケアハウスシーダーヒルズ	Kamiyashiro Station Café2025 実行委員
セントラルたなか鍼灸院	Kamiyashiro Station Café2025 実行委員
Bakery Porter	Kamiyashiro Station Café2025 実行委員
ZERO CAFE	Kamiyashiro Station Café2025 実行委員
イラストレーターミットモ	ロゴ・チラシ・看板等デザイン協力・相談

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2025	4	関係者打ち合わせ 事業計画調整 実行委員会	☐ 外国語大学城月先生・学芸大学草野先生との打ち合わせ＋ゼミへの説明参加 ☐ 名東文化小劇場・猪高学区との打ち合わせ ☐ 名東図書館との打ち合わせ
	5	申請書提出 イベント実施 実行委員会	☐ 名東図書館ガーデンカフェ実施（5/11） ☐ 助成金申請 ☐ 協賛金枠組み作り ☐ フライヤー①（出店者・協賛募集用）検討
	6	協賛金集め 実行委員会	☐ 協賛金集め ☐ フライヤー①配布 ☐ 出店者募集開始
	7	協賛金集め 実行委員会	☐ 協賛金集め ☐ フライヤー②（イベント告知用）検討
	8	出店者選考 実行委員会	☐ 出店者決定・確認 ☐ フライヤー②作成
	9	イベント実施 実行委員会	☐ 名東戦国夏祭り実施（9/20） ☐ フライヤー②配布
	10	イベント準備 アンケート内容検討 実行委員会	☐ 表示パネル等作成 ☐ SNS での出店者紹介
	11	イベント実施 イベントふりかえり 実行委員会	☐ Kamiyashiro Station Café at Night 実施（11/7） ☐ Kamiyashiro Station Café 2025 実施（11/9）
	12	協賛金お礼参り	☐ イベント報告書作成 ☐ 協賛金お礼参り
2026	1	出店者交流会 実行委員会	☐ 出店者交流会 ☐ 次年度に向けての検討
	2	活動報告書提出	☐ 助成金報告書作成・提出
	3	次年度に向けての 打ち合わせ	☐ 助成金報告会 ☐ 実行委員 2026 結成

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金 額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円			100,000
印刷製本費 使用料 及び賃借料	イベント掲示用 等身大パネル作成	ロゴデザイン料 デザイン料 等身大パネル（1枚）印刷代	20,000 15,000 15,500
	つながる・ひろがる・かみやしろ ポスター作成	デザイン料 印刷代（B3サイズ30枚）	15,000 5,530
	スクリーン レンタル費	レンタル料金（組み立て式 150 インチ×1） 設置費 搬入搬出費	16,500 33,000 22,000
	Kamiyashiro Station Café 実施にかかわる基本経費（フライヤー作成費、会場使用料、什器賃借料等）については、助成金を頼らない運営を目指すため、今回の予算書には計上していません。 基本経費ではカバーしにくいですが、まちづくりをより魅力的にするために必要な活動に関する経費への助成をお願いいたします。		
支出合計			142,530

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。